



平成二十四年度企画展

# 民俗芸能としての双盤念仏



会 期 十月六日(土)～十二月十六日(日)  
付随事業 見学会 十月十二日(金)  
武蔵村山市 薬師念仏鉦はり  
(宿薬師堂)

講演会 十一月二十五日(日)

つくば短期大学教授

坂本 要 氏

## 東村山ふるさと歴史館

住 所 〒189-0021 東京都東村山市諏訪町1-6-3

電 話 042-396-3800

E-Mail furusato@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

W E B <http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/>

(東村山市公式サイト)

開館時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで) 月・火曜日休館

※但し10月8日(月)は開館し、10~12日は閉館

交通案内 西武新宿線・国分寺線・西武園線「東村山駅」下車

西口より北へ徒歩8分

駐車場は小さいのでなるべく公共交通機関をご利用ください





狭山丘陵周辺では若者・青年が結集した「講」や「連中」が主体で、双盤という大きな鉦をたたきながら、節を付けた念仏を唱える「双盤念仏」の行事が盛んでした。念仏の節回しも唄のように流麗で、鉦と太鼓との掛け合い、またところにより耳をつんざくような音量は、聞く者を圧倒するほどの迫力があります。

東村山でもかつては盛んに行われていたこの芸能を、残された道具類や記録類、また現在も継承されているところの事例等の紹介により、「東村山関連の双盤念仏」というものがどういったものだったのか、明らかにしていきます。

■ 主な展示資料 ■

・ 双盤鉦4面・太鼓

山口観音(所沢市有形民俗文化財)

・ 久米川双盤念仏連中扁額

(昭和四年)

・ 野口村若者念仏稽古証文

(文化十三年十月)

小平市小島家文書

・ 祐天寺念仏関連文書

當麻家文書

・ 五重相伝(文政五年)

ふるさと歴史館所蔵

● 双盤念仏見学会 ●

日時：10月12日(金)午後1時～ 参加費：200円

双盤念仏を現在も行なっている、武蔵村山市宿の薬師念仏鉦はりの実演見学の他、双盤念仏ゆかりの場所をバスにて見学します。当日はふるさと歴史館の臨時休館日ですが、参加者の方には簡単な展示解説を行ないます。参加ご希望の方は、電話(042-396-3800)又は電子申請でお申し込みください。定員は先着18名です。

● 講演会「関東の双盤念仏」 ●

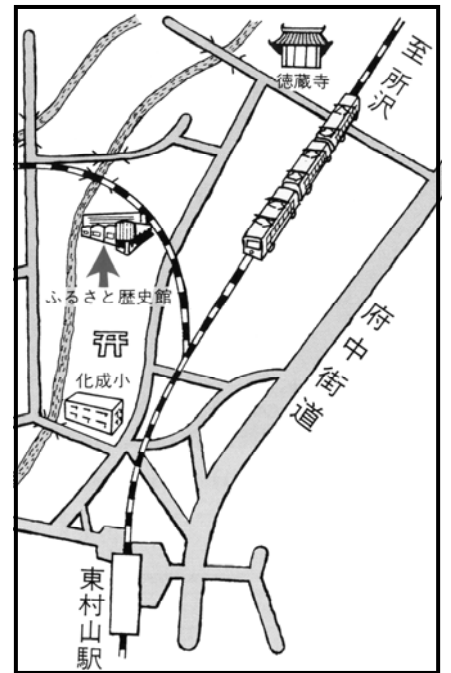
日時：11月25日(日)午後1時30分～ 資料代：200円

つくば短期大学の坂本要教授に、双盤念仏についての講演を行なっていただきます。場所はふるさと歴史館視聴覚室で行ないます。申込等、詳細は11月1日号市報をご覧ください。

● 展示説明会 ●

日時：10月27日(土)・11月4日(日)・11月18日(日)

展示担当学芸員が展示説明を行ないます。参加希望の方は、当日、直接、ふるさと歴史館特別展示室までいらしてください。それぞれ、午後2時より開始いたします。



東村山ふるさと歴史館